

非核「神戸方式」と憲法9条を守り
非核・平和の日本と世界を!

非核「神戸方式」決議 36周年 記念のつどい

1975-2011

3月18日 [金] 18時開会
神戸市勤労会館 308号室

記念講演 緒方 靖夫さん

(日本共産党副委員長・国際委員会責任者)

「核兵器のない世界をめざし」

- ★「核兵器全面禁止のアピール」署名運動スタート集会
- ★海外からの連帯メッセージ紹介 など



資料代 1,000円
(被爆者・学生 500円)

主催／非核「神戸方式」決議36周年記念集会実行委員会

協賛／非核の政府を求める兵庫の会

連絡先／神戸市中央区元町通6-7-6 茶本ビル5階 平和友好センター内

後援／神戸市 神戸市教育委員会

TEL(078)341-2818 FAX(078)371-2427

メール hikakukobe@yahoo.co.jp

講師紹介

緒方 靖夫 (おがた やすお)
 現職: 日本共産党副委員長。
 党国際委員会責任者。日本
 原水協全国理事、原水爆禁
 止世界大会議長団。
 経歴: 赤旗バリ特派員。赤旗
 外信部長兼赤旗編集局次長、
 英字紙「デートライン・ト
 ウキョウ」編集長、1986年
 に発覚した警察の電話盗聴
 事件とたたかい、民事裁判
 で勝利。1995年より2期
 12年間、参議院議員(東京
 選挙区選出)

核兵器積載艦艇の 神戸港入港拒否に 関する決議

神戸港は、その入港船舶
 数及び取り扱い貨物量から
 みて、世界の代表的な国
 際商業貿易港である。
 利用するものにとっては
 使いやすい港、働くにと
 って働きやすい港として
 発展しつつある神戸港は、
 同時に市民に親しまれる平
 和な港でなければならない。
 この港に核兵器が持ち込
 まれることがあるとすれば、
 港湾機能の阻害はもとより、
 市民の不安と混乱は想像に
 難くないものがある。
 よって神戸市会は核兵器
 を積載した艦艇の神戸港入
 港を一切拒否するものであ
 る。

1975年3月18日

神戸市会

「核兵器全面禁止のアピール」

**核兵器の
 禁止を**

*For a Total Ban
 on Nuclear Weapons*

あなたの
 署名を国連へ!

私は、
 すべての国の政府に、
 すみやかに核兵器禁止条約の
 交渉を開始するよう
 求めます。

私たちが賛同しています。

ポスターに登場している方がとともに、
 次のみなさんも賛同しています。

- | | |
|----------------|-------------------|
| 吉永小百合(女優) | 湯川れい子(音楽評論家) |
| 沢田 研二(歌手) | ジェームス三木(脚本家) |
| 宝田 明(俳優) | 宮本 和郎(画家) |
| 十朱 幸代(女優) | 神山征二郎(映画監督) |
| 中原ひとみ(俳優) | 大澤 豊(映画監督) |
| 斎藤 貴男(ジャーナリスト) | 梅林 宏道(NPO法人ピースアポ) |

(順不同、敬称略。2011年1月28日現在)

記念日の3月18日(金)に 昼休み平和パレードを予定

(12時15分 神戸市役所南・花時計公園から
 神戸大丸前まで)

核兵器全面禁止 のアピール



1945年8月、広島と長崎に落とされた原爆は一瞬のうちに二つの街を廃墟
 に変え、21万の人々の命を奪いました。いまなお20万を超える被爆者が苦し
 んでいます。この悲劇をいかなる地にもくり返してはなりません。

いま核兵器の廃絶を求める声は世界にひろがっています。多くの国で市民
 が行動し、政府がその実現を支持しています。ヒロシマ・ナガサキをくり返
 させないもっとも確かな保証は核兵器を全面的に禁止し、廃絶することです。

2010年5月の核不拡散条約(NPT)再検討会議では、核保有国を含む189
 の国々が「核兵器のない世界の平和と安全を達成する」ことを決めました。いま、
 それを実行に移すときです。

**私たちはすべての国の政府に、
 すみやかに核兵器禁止条約の交渉を開始するよう求めます。**

名 前	住 所	募 金

この署名は2011年2月15日、被爆地広島、長崎から、両市長をはじめ内外の広範な賛同を得てスター
 トしました。みなさんの署名は、毎年の国連総会に提出いたします。

切り取りせん